

運動部活動の地域移行に向けた実証事業 成果報告書（概要）

京都府京都市

●地域における現状・課題

- ・R5年度は民間事業者、大学、プロチームの連携を進め、実践研究を行う部活を16校28部に拡大【①民間事業者7校9部②大学連携9校18部③プロチーム1校1部】
- ・有識者・関係団体等で構成する協議会「学校部活動及び地域クラブ活動の在り方検討会議」を設置し、令和6年1月に第1回会議を開催。
- ・令和5年に教職員及び生徒を対象とした部活動に関する意識等を確認するアンケート調査を実施。8割近くの教員が休日部活動に負担を感じており、2割以上の生徒が地域移行後、休日に地域クラブで活動したいと考えているという結果であった。

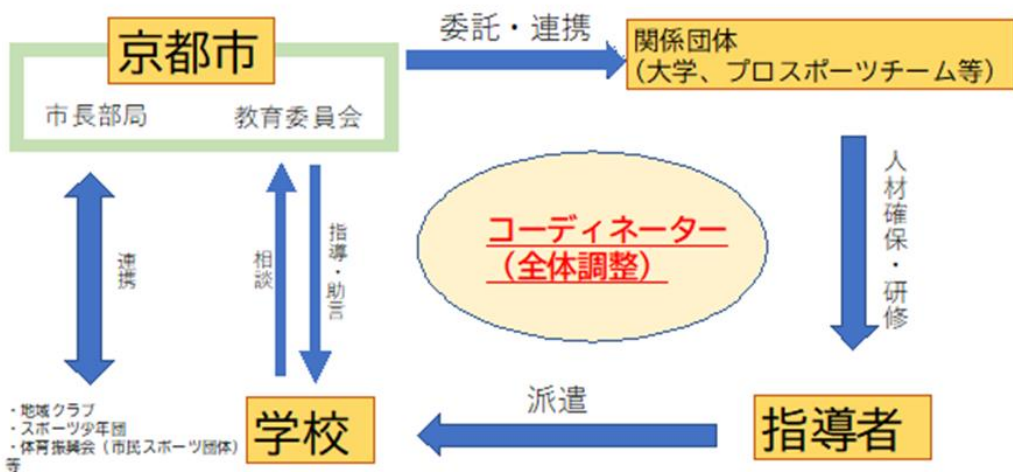
●取組事項の概要

- ・民間事業者と連携し、休日部活動の管理運営を委託する取組を7校9部で実施（学校管理外）
- ・びわこ成蹊スポーツ大学・大阪成蹊大学を運営する学校法人大阪成蹊学園と連携し、休日部活動に大学生を派遣する取組を9校18部で実施。（学校管理下）
- ・コーディネーターを配置し、学校や関係団体との連絡調整を担う。

●取組の成果、特に工夫した点等

- ・アンケート結果から、保護者や生徒から好評の声があり、指導者の質も一定確保できている。
- ・コーディネーターが適宜、受託事業者や学校と連絡調整を行うとともに、学校訪問や視察を行う等、丁寧な指導助言の体制を構築した。

●運営体制図



●地域クラブ活動の概要（代表的な取組例）

- (1) 運営類型：地域団体・人材活用型
- (2) 運営主体：（びわこ成蹊スポーツ大学・大阪成蹊大学）
- (3) 種目：サッカー、陸上、軟式野球、ソフトテニス、卓球、水泳、バレーボール、バスケットボール
- (4) 指導者の主な属性：大学生
- (5) 1か月あたりの平均的な活動回数：月4回程度
- (6) 主な活動場所：活動拠点中学校内施設（体育館・グラウンド等）
- (7) 主な移動手段：公共交通機関
- (6) 1人あたりの参加会費等（年額）：徴収なし
- (7) 1人あたりの保険料：学生指導者1人あたり：1,850円/年
（生徒：学校管理下での活動のため既存保険で対応）